

専門分野と社会との関わり

人は受け取る情報の8割を視覚から得ているといわれています。グラフィックデザインの分野はその橋渡しをする紙やWebなどを始めとする平面的な媒体において、伝えたいことを素早く誤解なく伝え、働きかける役割があります。複雑な現代社会において、多様なクライアントを想定し、効果的に視覚的に伝えることを伝えていきたいです。

ポスターという媒体は、大型かつ限られたサイズの中で、一瞬で人の目と心をつかみ、必要な情報を伝えることができる分野です。画家がデザイナーを兼ねていた近代から始まり、大戦や大量消費の時代を経て、現代または将来、主題や手法が変わっていても、ヴィジュアルの力は必要とされ続けるでしょう。



ヴィジュアル・情報領域

専任講師 宮川 友子

専門分野

グラフィックデザイン
ポスターアート

学位・資格

修士（美術）、学士（教育）
小学校教諭一種免許状
中学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（美術）研究者情報
(Research Map)

最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

ポーランドポスターについてのメルマガと「女性ポスター展」

「ポーランドポスター」は現代のグラフィックデザインに大きな影響を与えてきました。大垣市にある日本国際ポスター美術館で収集してきた世界の現代ポスターの中から、その名作の解説やデザイナー、広告塔のある文化について、2022年度に12回、月刊でメルマガジンを書きました。

2023年5月～6月大垣市スイトピアセンターで、7月岐阜市文化会館で「世界の女性ポスターデザイナー展」を企画し、世界17か国31名の女性デザイナーのポスターを156点展示しました。

ポーランド広告塔百景#9



授業紹介／ゼミ生による教員紹介

和やかで柔らかい雰囲気

宮川先生の授業は大変和やかな雰囲気です。グラフィックデザインの授業では、アイディアスケッチから完成品の印刷まで生徒一人一人に寄り添って相談を聞いてくださいます。わからないことがあった時やアイディアに行き詰まった時に相談しやすく、とても楽しくのびのびと課題制作に取り組めます。また、旅行のお話や最近のデザインについてのニュースなどを沢山共有してくださり、それらも大変興味深いです。

研究室でも同様に、ゼミ生が先生とコミュニケーションを取り学生のやりたいことを尊重しながら様々な視点での確にアドバイスをしてくださるので、とても尊敬しています。

